

# 常任委員会 (総務、文教産業、民生病院、建設水道) 所管事務調査について報告します

## 民生病院委員会

## 介護予防を中心とした健康寿命延伸について

認識

平成31年4月の本市の高齢化率は、31.0%であり、今後、団塊の世代が加わることで、更に上昇すると予想される。また、要介護認定者数は、高齢化に伴い急増している状況にあるため、今後は介護を必要としない高齢者を増やす施策の充実が望まれる。

調査

千葉県柏市は、日本で初めてフレイル予防に取り組んだ市であり、東京大学の研究会の協力を得た先進的な取組を視察した。東京都西東京市は、健康応援都市を目指し、介護保険事業計画において、医療・介護の専門職の力と市民の力を生かした地域包括ケアシステムを構築している市であり、独自の取組を調査した。

提言

- ・フレイルチェックの普及・啓発を行うフレイルサポーターの養成及び増員に努めること。
- ・介護予防に関する出前講座の実施やモデル地区の選定等、対象地区の拡大や回数増加など事業の拡充に努めること。
- ・事業の実施には地域との連携を図り、市民が楽しんで活動できるような工夫を積極的に取り入れること。



▲西東京市の介護保険事業計画を研究



▲やってみよう！フレイルチェック

## 建設水道委員会

## 都市のスポンジ化への対応 ～車中心からヒトと公共交通中心のまちづくり～



▲JR沼津駅北口周辺で実施された道路空間の歩行空間化社会実験を視察



▲福井市では平面駐車場を屋外広場として有効活用した事例を視察

認識

本市の中心市街地では、平面駐車場や空き地等の低未利用地が散在する都市のスポンジ化が進行し、これによる生活利便性の低下や景観の悪化等が課題となっている。このことから、中心市街地の特性を踏まえた上で、低未利用地を活用した施策展開が求められる。

調査

勉強会により本市の中心市街地の現状を把握するとともに、JR沼津駅北口周辺で行われた道路空間の歩行空間化社会実験を視察した。福井市では、新米テラスの取組を視察し、中心市街地の平面駐車場を屋外広場として有効活用（使用権交換）することでにぎわいを生み、市街地環境の向上や空き店舗の減少に寄与している点を確認した。

提言

- ・中心市街地に散在している低未利用地を転用し、活用することでにぎわいや回遊を生む拠点の創出が期待できることから、医療施設や子育て施設等の都市機能を導入するために低未利用地の用途転換や集約化による柔軟な土地の活用を求める。
- ・公共交通中心のまちづくりに向けて、居住地と中心市街地を結び利用しやすい交通体系が重要となるため、今まで以上に市と交通事業者の連携を求める。